

事業概要

▶事業概要

名称	ごみ処理施設整備・運営事業
事業主体	尾張北部環境組合
処理量	①エネルギー回収型廃棄物処理施設：194t/日(97t/日×2炉) ※可燃ごみを焼却する施設 ②マテリアルリサイクル推進施設：14t/5h×1系列 ※不燃・粗大ごみを処理する施設
事業用地	愛知県江南市中般若町北浦地内
処理方式	全連続燃焼式ストーカ方式
事業方式	①エネルギー回収型廃棄物処理施設： DB+O（Design-Build-Operate）方式 ※設計から建設、施設運営までを事業者委託 ②マテリアルリサイクル推進施設： DBM（Design-Build-Maintenance）方式 ※設計、建設、施設維持は事業者委託し、施設運転は組合実施
事業の委託契約期間	1)設計・建設期間：令和5年3月～令和10年3月 2)施設運営に関する事業者への委託期間 ①エネルギー回収型廃棄物処理施設：令和10年4月～令和30年3月(20年間) ②マテリアルリサイクル推進施設：令和10年4月～令和20年3月(10年間)

▶業務工程（予定）

項目	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
● 準備工事 (伐採)	▼令和5年中旬着手					
● 土地造成工事	▼令和6年4月着手					
● 土木建築工事	▼令和6年12月着手					
● プラント工事	▼令和7年12月着手					
● 試運転	▼令和10年4月 供用開始					
● 運営期間	▼					

▶コンセプト：くらしと環境に寄り添う「水とみどり華やぐエコプラント」

木曽川沿いの豊かな自然・文化と融和するランドスケープを意識し、意匠デザインとしています。特に県道に面する南側の施設外壁は、尾張北部地方の歴史・伝統を尊重し、駕籠・竹組をモチーフとして大きくあしらっています。アースカラーの建屋と日射を調整する庇がやさしく景観と調和します。

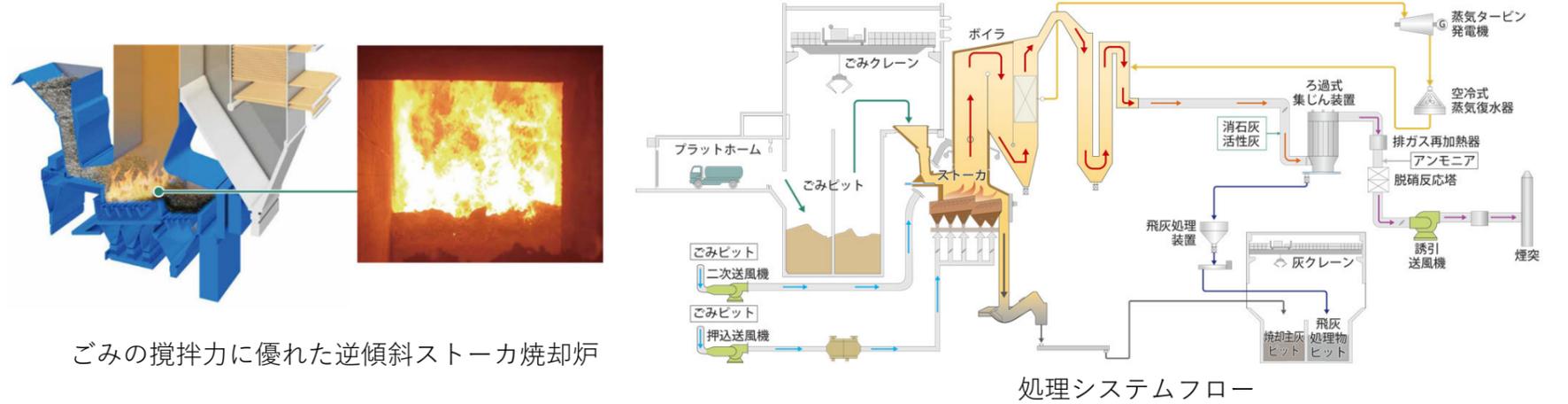


施設外観(南側)

施設概要

▶処理フロー

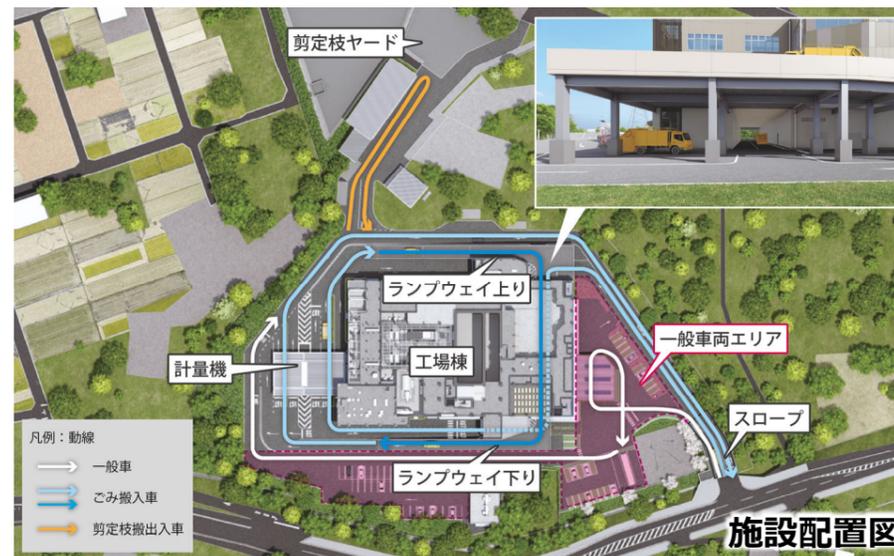
本施設は最新の一般廃棄物処理技術を導入しており、処理能力97トン/日のストーカ炉2基のほか、CO2排出量削減による環境負荷低減や高効率の発電能力を実現しています。



▶施設配置動線・見学展示・緑化計画

■施設配置動線計画

計量棟は施設入口から離れた位置に配置し、混雑時の待車スペースを確保します。安全確保のために周回道路は時計回り・プラットホームは通り抜け方式を採用します。また、ランプウェイ（傾斜路）方式を採用し、敷地を立体的に有効活用します。



構内各所には、案内板や道路サインなどを設置し、来場者に構内の車両動線を、分かりやすく案内します。



■見学展示計画

見学空間は、実際に目で見て聞いて触れて学ぶ、五感を刺激する体感展示を通して、地域環境と循環型社会の学びを深める場とします。また、見学ルートには木曽川を眺望できる屋上デッキを設けます。



■緑化計画

地域の特長を生かした緑化計画を行い、環境保全と生態系ネットワーク形成に配慮した緑づくりに注力します。

「つくる」健全で良質な緑

- ◆要求水準を上回る緑地面積割合24%の達成(6,741㎡)

「まもる」いのちを守る緑

- ◆ピオトープやエコスタックを通して、「生物の移動空間(コリドー)・生息空間」を創出

「いかに」暮らしの質を高める緑

- ◆地域の専門家に植栽計画に入ってもらい、地元の特長や環境をいかに緑化計画の推進

「つなぐ」交流を生み出す緑

- ◆住民参加型の緑づくりや出前教育等の啓蒙活動実施

「あいち生物多様性戦略2030」に向けた本事業の環境保全方針